令和５年度第２回富山県産業廃棄物処理施設審査会議事録

１　日時

令和５年 10 月 31 日（火）14:00 から 14:45 まで

２　場所

富山県民会館 704 号室

３　出席者

（委　員）加賀谷委員、大藤委員、髙橋委員、長谷川委員、古谷委員、渡辺委員
（事務局）中島生活環境文化部参事、九澤参事・環境政策課長、森廃棄物対策班長　ほか
（申請者）㈱高岡市衛生公社

４　議事

（１）株式会社高岡市衛生公社の産業廃棄物焼却施設の設置許可について
　①　関係市町村長等からの意見について
　②　各委員からの意見及び質問事項並びにその対応について
（２）株式会社高岡市衛生公社の産業廃棄物処理施設設置許可申請に係る審査会意見について

〔概要〕

・　中島参事からの挨拶後、事務局から、関係市からの意見及び第１回審査会以降に追加で提出された委員の意見に対する申請者の回答について説明が行われた。
・　関係市からの意見及び各委員からの意見等を踏まえ、知事への答申（事務局案）について審議及び修正が行われ、最終的に本審査会終了後に事務局において文言修正を行い、その確認については会長に一任することが了承された。
　また、知事への答申手続きについても会長に一任することで了承された。

５　主な質疑等

（１）株式会社高岡市衛生公社の産業廃棄物焼却施設の設置許可について
（委員）　焼却施設の設置場所は堤防の上か。
（委員）　堤防の下になる。

（２）株式会社高岡市衛生公社の産業廃棄物処理施設設置許可申請に係る審査会意見について
（委員）　２（１）について、廃酸、廃アルカリ、廃油等の液体廃棄物が計画にあるなかで、廃油は当然燃やすもののため記載されていないのはわかるが、「廃酸等」と廃酸だけ強調されており、違和感がある。廃酸、廃アルカリは一般的に燃えないものであり、廃アルカリを並列で記載してはどうか。
（事務局）　「廃酸・廃アルカリ等」に記載を修正する。

（委員）　１の設置に関する計画について、「地震による地盤災害や豪雨による洪水災害」とあるが、最近では複合災害にどう対応するかという問題もあり、例えば地震によって堤防が壊れ、河川が氾濫するということもあるので、「地震・豪雨による地盤災害

や洪水災害」という記載の方がよいと思われる。
（事務局）　「地震・豪雨による地盤災害や洪水災害」に記載を修正する。

（委員）　２（４）の修正意見について、「施設周辺の生活環境に影響を及ぼす事故等に対しては適切な措置が行えるよう」という文言の追加は、事故対応マニュアルの目的がより明確になるようにし、「周辺の生活環境」を強調するものとなっている。
事故対応マニュアルは、周辺への被害を最小限に食い止められるようにするとという目的があり、その部分がより明確になるということで、文言さえ問題なければ追加してもよいかと思われる。
（委員）　特に異論がないため、意見のとおり文言を追加する。

（委員）　３（２）の修正意見について、「また、使用電力量等の削減にも努めること」を追加することに対し、焼却炉なので電力はもちろん使用することになるが、電力だけ強調することに少し引っかかった。
CO_2排出のことを考えると助燃剤等の燃焼をコントロールするというとも重要と思われる。燃料という表現を避けるべきであれば、エネルギーという表現もあるかと思うが、行政文書で「エネルギー」という表現は使用されるか。
（事務局）　使用する。
（委員）　廃棄物の焼却によるCO_2の排出はあると思うが、焼却を行うための電力や助燃剤のような外的なエネルギーを加えることによるCO_2の排出を抑えるという意味も持たせたほうがよいかと思われる。
例えば「使用電力量等のエネルギーの削減に努める」又は「使用エネルギーの削減に努める」とすることで、電力がエネルギーの１つであり、助燃剤等も含めて削減に努めるというニュアンスになると思われる。
（委員）　まとめて「CO_2排出量の削減」としたらどうか。
（委員）　意見の趣旨のところに、脱炭素という記載があり、「使用電力量等の削減を通してCO_2排出量の低減に努める」と表現すると良いかもしれない。趣旨には燃料使用量という言葉も出てきているため、そのあたりも盛り込みたいところではあるが。
（事務局）　これまでの意見を踏まえると「使用電力量等のエネルギー削減によりCO_2の低減に努めること」というような趣旨になるかと思うが、細かい表現は事務局で整理のうえ相談させていただきたい。
（会長）　以上、事務局において整理、答申の取りまとめをお願いする。その確認については、会長一任とさせていただく。

以上の内容に相違ありません

富山県産業廃棄物処理施設審査会　会長